



Newsletter No.142 2017.6.26

ronniandpopoki(at)gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>



6月！ポーポキの住む神戸では、今が雨の季節です。でも、最近は雨があまりふりません！降ってほしいときは降らず、降ってほしくないときには降るのはなぜでしょうかね。

## Popoki's Hot News!



COMING SOON!

今年の灘チャレンジは7月2日です！  
ポーポキは模擬店と展示を担当します。  
そして、特別ゲストを招待しました！  
大槌町の川原畑洋子さん！  
会いに来てね！まっていま～す！  
(9ページをご参照ください)

### 「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちのあいちゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「平和をつくるレシピがあるといいなぁといつも思います。でも、きっと平和は、決められた方法ではなくて私たち一人ひとりのクリエイティブな発想でつくられるものかもしれない。

たとえば、大切な人たちに笑ってもらえるように考えて対話している過程には平和があるよね。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

## ワークショップ@畿央大学

ふみにゃん

5月27日に奈良県にある畿央大学で平和に関するワークショップを行いました。今回のキーワードは「平和・元気・健康」でした。それぞれの中にある「平和・元気・健康」の色やカタチの話をする事ができてとっても面白いワークショップでした。畿央大学の学生の皆さんと「平和・元気・健康」について考えた活動について、写真と一緒にレポートしたいと思います。



① まずは自己紹介



② さとにゃんに教えてもらいながら、「ポガ」でリラックス



③ 絵を見ながら考える。

平和ってどんな色？  
この絵は平和？元気？健康？  
それぞれに違いがあって面白い！



④ ポーポキの絵本の読み聞かせ  
みんな日本語で読みました！

⑤ 次は平和と健康を表す人間彫刻！みんなで協力していろんなカタチが出来ました！

ハートの中に人



すごい！けど下の人は平和かな？



みんなでハート。  
ハートを作るグループが多かったかもしれません。



PEACE の人文字



ポーポキの「ピースマシンの旅」をみて、世界で起こっている暴力について学んだあと、みんなでお絵かきをしました。テーマは「ポーポキもみんなも健康で元気になるピース・ガーデン」です。すべてを載せることはできないけれど、どのグループも素晴らしい絵を描くことができました。



#### —みなさんの感想—

・平和について考える機会というのは小学生以来だったため、興味深く取り組むことができた。平和とは何色か、健康とは何色か、元気とは何色か、人それぞれ想う色があり、自分とは違う他人の意見を聞くことで、新たな捉え方を見いだすことができた。

・動画では、第2次世界大戦での原爆、枯れ葉剤の影響などで次世代まで身体に影響を及ぼしていることを詳しく知れ、また、人間を使った実験等、これまで授業で習ってきたが、口頭で画像などはない状態で習ったため、動画を見ることで戦争の恐怖と憤りを感じた。日本は原爆「唯一の」被爆国であ

るが、襲撃や植民地では原住民から言葉を取り上げる、労働させるなどもあった。日本では、被爆国であるということを強調し、子どもたちは日本が行ってきたことをあまり知らないこともあると思う。しかし、戦争をなくしていくためには、自国が行ったことも十分に理解していくことも必要だと考える。

・ポーポキの絵本を読み聞かせてもらった。この本は、ポーポキの日常生活から平和について考えさせられるものであった。問いかけがたくさんあったので、もう一度じっくりと読み考えてみたいと思った。  
・平和や健康に一番必要なものはなんなのかという問いに対しては私は芸術が一番必要ではないかと考えた。素晴らしい芸術はその国だけでなく世界で評価されることが多い。そのことから芸術は世界の人々をつなげる重要な要因の一つになるのではないかと考える。また、芸術は見たり聞いたりした人々の心を豊かにする。心が豊かになることで身体的にもよい影響が与えられるのではないかと考えるため芸術が重要であると考えた。

—おわりに—

ポーポキ通信を書きながら、写真を見ていくと今回のテーマである「平和・元気・健康」を表現しようとするとき、みんなの顔が笑っていることに気が付きました。みんなが笑顔になれることということもまた「平和・元気・健康」を表現するひとつかもしれませんね。そんなことを考えながら、レポートを終わりにします。



## ポーポキの新しい試み～ポーポキと減災を多言語で考える 2

ろにゃん

ポーポキと減災を多言語で考える活動が 2 か月目に入りました。5 月の最後の月曜日にお話しを掲載して、みなにゃんが訳したり、かいたりしてくれました。簡単な話でしたので、ここでも書きます。(ポーポキのフェイスブックも見てくださいね！)

5 月に紹介した単語(災害、地震、津波、火事)をつかってお話をつくりました。

ある日(ひ)、ポーポキはろにゃんに聞(き)きました。「地震(じしん)、津波(つなみ)、火事(かじ)…。なんでフェイスブックにアップしたりするの？意味(いみ)がないじゃないの！？！」

「そうかもしれないけど、もしも実際(じっさい)に災害(さいがい)にあったら、ポーポキはどうするの？」  
ろにゃんはいいました。

「よくわかんないけど、逃(に)げるかな。」

「そうね。それがいいね。だからいろんな種類(しゅるい)の災害(さいがい)からの逃(に)げ方(かた)

についてこれからも考(かんが)えようね。



「うん、でもね。にげるときにフェイスブックなんか見(み)ませんよ！」

みなにゃん、訳(やく)をお願い(ねが)いします！  
そして、みなもストーリーをつくって共有(きょうゆう)してみてはいかが？(英訳(えいやく)をつけてくれるとたくさんの人(ひと)が読(よ)めるので、ぜひお願い(ねがい)いします！)

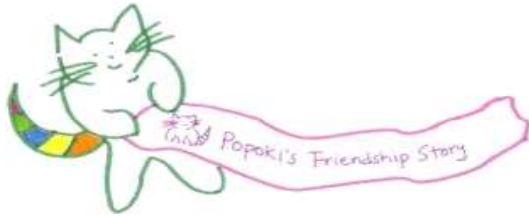
6月のテーマは「避難の準備」でした。  
第一週目：警報； ポーポキは、防災情報を申し込んでいるので、スマートフォンに台風や津波などの警報が出ます。



第二週目：避難勧告； ポーポキは、避難勧告が出たら、自分の準備ができていることを確認してから隣のコアラばあちゃんの部屋へ行って、手伝いを望んだら手伝います。

第三週目：避難袋； ポーポキは、友だちのぺんちゃんの避難袋にはチョコを入れます。避難するときにおやつが大事だからね。





## \*Popoki's Interview\*

ろにゃん

ポーポキ友情物語活動を岩手県で初めて行ったのは 2011 年の 5 月連休です。釜石や大槌町の避難所でたくさんの方が布に絵を描き、私たちに想いを共有してくれました。今回は、「インタビュー」の欄を借りて、深く印象に残った絵と出来事を一つ紹介します。

2011 年 5 月初めの岩手県沿岸地域。津波被害が生々しく残っていた時期です。避難所である子どもさんが一生懸命に絵を描いてくれしました。紫色で描かれた渦巻です。小さな子供さんということもあって、自分が見た「津波」をことばで表現しようとしませんでした。けれど、ことばは不要でした。見たらわかる。そのとき、このポーポキ友情物語活動の「お絵描き」のパワーを感じました。けれど、話はそこで終わりません。その後、同じ布を持って、あちらこちらで描いてもらいました。絵がどんどん増えて、布がにぎやかになりました。けれど、「渦巻」周辺にはだれも描こうとしませんでした。小さな子どもなら、平気ですでに描かれている絵の上に自分の絵を重ねることがあるのに、「渦巻」だけはみんなの絵から隔離されたようで、寂しく訴え続けていました。



しかしある日、ある子どもが「渦巻」に花を描きました。そして、隔離されていた「渦巻」がいきなり仲間入りできました。周りに次々と絵が描かれました。ますます「お絵描き」のパワーを感じる私でした。すぐには花を描くことができなかったことも、花が描かれてからの変化も。ポーポキは、適切なタイミングでたくさんの方が描かれるきっかけになり続けることができたらうれしい、と思います。ポーポキ、ありがとう！



# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 109

今月のテーマは、雨の日にもストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
  2. では、立って、傘を頭の上を高〜くあげましょう！
  3. 次は、腰や腕を伸ばしたまま、傘をまわしましょう。まずは右へまわし、今度は左へまわしてみてね。  
合わせてしっぽもどうぞ！
  4. 今度は、腰や腕を伸ばしたまま、右へ、そして左へストレッチ！しっぽもストレッチしていますか？
  5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？



次回のポー会： 7月2日 16:30～ 灘チャレンジのポーポキのブース

7月2日 ポーポキ at 灘チャレンジ！今年も模擬店&展示！ 10:00～16:00。

● お手伝いしてくれる人は9:00にポーポキのブースで集合。

◇ 大槌町からのスペシャルゲストは川原畑洋子さん！SHAKE HAND活動もします！

- 7月3日 洋子さんを囲んで、神戸大学でランチ！参加希望の方はろにゃんにご連絡ください。
- 7月15日 ポーポキ at 子どもの里！10:00～12:00
- 8月6日 ヒロシマディースカイプ(予定) 8:00～10:00

ポーポキの友だちから

東日本大震災避難者の会 Thanks and Dream 編 「3.11避難者の声～当事者自身がアーカイブ～」

(2017.3. 11) 問い合わせ先：東日本大震災避難者の会 Thanks and Dream、sandori2014@gmail.com





**7月2日(日) 10-16時** トガカワコウエン  
**都賀川公園**

23rd Nada  
Challenge  
Festival @  
Togakawa Park  
2 July 2017

※小雨決行 荒天中止

神戸大学の学生が中心になって地域の皆さんと作る祭り、灘チャレンジ。  
阪神淡路大震災の復興祭として始まって今年で23回目となりました。

Kobe University students and local residents have held this festival since the 1995 Kobe earthquake.



阪神大石駅から  
徒歩8分  
JR六甲道駅から  
徒歩14分  
阪急六甲駅から  
徒歩18分

〒657-8501  
神戸市灘区鶴甲1丁目2-1 神戸大学学務部学生支援課気付  
神戸大学学生震災救援隊内灘チャレンジ実行委員会

☎ 078-881-4755

✉ nadachallenge@yahoo.co.jp

🐦 @Ncha\_2017

🏠 <http://nadachallenge.wixsite.com/nadachallenge>



# Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー : <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange

<http://www.interpeople.or.jp>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peace? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. [kansaiscene.com](http://kansaiscene.com)
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: [blrhyg@osk33web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk33web.ne.jp)
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10







## 私 にとってのポーポキ

まゆこにゃん

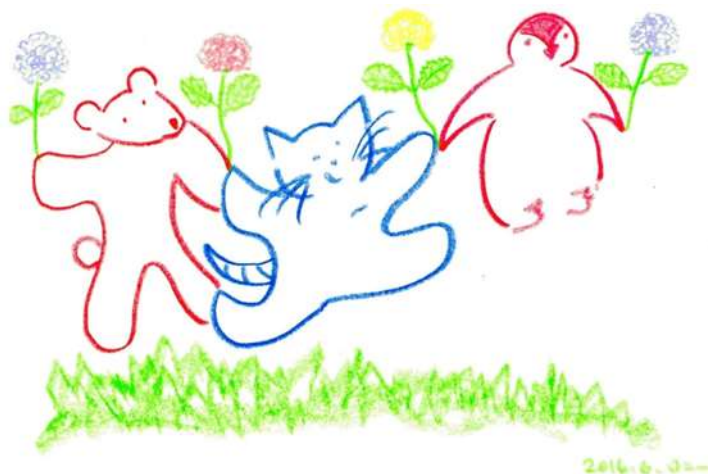
この春から、2年間暮らした神戸を離れて新しい環境で生活しています。新しい出会いもあり、新しい友人もできました。でも、それはほとんど「仕事上」の知り合いたち。例え食事に行っても、話す内容は仕事の話ばかり。3月に、ポー会で先輩にゃんたちが仰っていた通りですね。自分の人間関係が狭まっていく気がして、少し焦りながら、でもまずは新生活に適応せねば！という思いです。



私はポーポキを通じて沢山のメンバーと出会いました。年齢も出身地も所属も全然異なっていて、ポーポキの活動に参加しなかったら出会うことのなかった人たち。それぞれバックグラウンドが異なるからこそ、考え方や一つのイベントに対する思いもそれぞれ異なるし、自分にはなかった発想を知り、平和を考え、安心を考える。多様な視点で一つのことを考える、ということを学びました。

ポーポキという一匹のねこの存在がこんなにたくさんの人たちを結びつけることができることってすごいことだと思います。そして、その一人としてみんなと出会えたポーポキ活動は、ちょっとユニークで大切な時間です。

私も、もう少し生活が落ち着いたら、またみんなにゃんに会いに行きたいです！



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com) へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!